

ありがとう

【教育目標】

○夢や目標に向かって、仲間とともに主体的に学ぶ児童・生徒の育成

【合い言葉】

○「ありがとう」でもっとつながる大畑小

発行 大畑小校長 森下秀一

皆様、令和4年度も大畑小をよろしくお願いいたします

校庭の桜の木には緑色の若葉がぎっしりとついて、日に日に大きく育っています。その姿を見ると、生命の力強さをひしひしと感じます。

保護者の皆様や地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解ご協力をいただいておりますことに心よりお礼申し上げます。



さて、令和4年度の大畑小学校が本格的に動き始めました。

私は、本校5年目となりました校長の森下秀一と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度の大畑小学校は、**10人の新入生を迎えて児童数66人、教職員16人**でスタートしました。

残念ながら今後もコロナ禍が続きそうですが、**全員の力を結集して困難を乗り越え、魅力ある学校にしていきたい**と考えています。

その手始めとして、今年度は教育目標を小・中学校で一本化しました。

令和4年度の教育目標は、「**夢や目標に向かって、仲間とともに 主体的に学ぶ 児童・生徒の育成**」です。この目標には、これまで以上に小中連携を深めて、義務教育の9ヶ年を通して、子どもたちに「生きる力」を育みたいという思いを込めています。

この目標を達成するために、大畑小学校では子どもたちに**3つの力**を付けたいと考えています。それが、「**関わり合う力**」、「**自ら学ぶ力**」、「**やりぬく力**」です。

「**関わり合う力**」とは、相手や仲間を尊重しながら学び合ったり、生活したりできる豊かな心のことです。

「**自ら学ぶ力**」とは、学習に意欲的に取り組み、問題に対して、知識や技能を活用しながら思考し、判断し、表現する賢さのことです。

「**やりぬく力**」とは、夢を叶えるために、小さな目標を立ててあきらめず最後まで努力する精神力や体力のことです。

これらの力を育成するために、中学校の先生方とも連携をしながら、学校でできることを具体的に考え真剣に取り組んでまいります。

本年度もどうぞ大畑小学校の教育にご理解ご協力をお願いいたします。

私の方から一つお願いがございます。

子どもたちが育つ場は、学校だけではありません。

当然、基盤となるのは家庭教育です。

それに、加えて地域の教育力も子どもたちの成長にとって欠かせないものです。

未来を担う子どもたちの育成のために、今後ともそれぞれの立場から子どもたちへの直接のご指導、ご支援をいただけたいへん有り難いです。

